

第 23 回 BeSeTo 演劇祭 新潟

Noism0

愛と精霊の家

The House of Spirit



昨夏新潟で一夜限り上演した Noism0 の話題作、第 23 回 BeSeTo 演劇祭 新潟で、再演決定！

演出振付：金森穰

美術：須長檀

衣裳：中嶋佑一

映像：遠藤龍

照明：伊藤雅一（RYU）、金森穰

舞台監督：尾崎聡

出演：井関佐和子、山田勇氣、小尻健太、奥野晃士、金森穰

原案：シアンの家（初演：2012.9.1 高知県立美術館）

1 人の俳優と 3 人の舞踊家は男の愛の多面性を、人形・舞踊家・妻・母になれぬ女を演じる舞踊家は、女の愛の孤独を象徴する。4 人の男と女の 4 役はシ（死）のメタファーとして作品に通底していく。果たして死んでいるのは男か女か。終わり無き始まりと、始まり無き終わりの輪廻の中で、永劫回帰を繰り返す男と女の魂は、夢幻の境を彷徨いながら、愛を求めて 1 人さすらう。

【埼玉公演】 2016 年 8 月 20 日（土）・21 日（日） 彩の国さいたま芸術劇場〈大ホール〉

【新潟公演】 2016 年 10 月 7 日（金） りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

主催：BeSeTo 演劇祭新潟開催実行委員会 共催：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団（埼玉公演）

作品について

2015年9月、新潟で一夜限り上演され反響をよんだ Noism0『愛と精霊の家』が、今年夏から秋にかけて開催される「第23回 BeSeTo 演劇祭 新潟」で再演されることが決定しました。

Noism0（ノイズムゼロ）は、りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館の専属舞踊団として2004年に設立されたNoismの芸術監督・金森穰が、新潟市で開催された「水と土の芸術祭 2015」を機に立ち上げたプロジェクトカンパニーです。舞踊に限らず、演劇、音楽、美術等それぞれのジャンルで専門的経験を積み、卓越した活動を展開している芸術家が集い、不定期で公演を行います。

『愛と精霊の家』は、この新プロジェクトの第一弾として、昨夏新潟で初めて開催された「NIDF2015-新潟国際ナショナルダンスフェスティバル」で初演し、好評を博しました。金森穰と井関佐和子によるプライベートユニットであるunit-Cyan（ユニットシアン）が2012年に発表した『シアンの家』を基に、人類普遍のテーマ、永遠のテーマである愛と死を描いた作品です。

出演は、Noism 副芸術監督で筆頭舞踊家である井関佐和子をはじめ、Noism2 専属振付家兼リハーサル監督の山田勇気、ネザーランド・ダンス・シアター I で活躍した後、Noism にもゲストメンバーとして所属し、現在は国内外で活動している小尻健太、Noism 劇的舞踊『カルメン』、『ラ・バヤデール—幻の国』への出演も記憶に新しいSPAC—静岡県舞台芸術センター所属俳優の奥野晃士。そして、金森穰も自ら舞台に立つということで、2015年の初演時は大きな話題となり、この一夜限りの作品を見届けようと全国各地から観客が新潟に集まり、劇場は熱気に包まれました。

unit-Cyanでは、公私混同・虚実混同で生み出された作品が、2人の舞踊家と1人の俳優を迎え、さらに金森20歳のときのデビュー作『Under the marron tree』が組み込まれたことで、より普遍的で誰しも共有可能な作品へと飛躍し、ラヴェルの《亡き王女のためのパヴァーヌ》やマーラーの《交響曲第5番第4楽章（アダージェット）》といったロマン主義の音楽と、イヨネスコ原作の『椅子』のテキストで豊穰に描かれる愛と死の物語は、大きな反響をよびました。初演から1年、今年秋に新潟で初めて開催されることとなった「BeSeTo 演劇祭 新潟」の企画のひとつとして、早くも再演が決定しました。8月にはプレ公演として埼玉で、10月にはホーム新潟で上演いたします。



2015年初演より ©Kishin Shinoyama

PROFILE

Noism 0 (ノイズムゼロ)



水と土の芸術祭 2015 でパフォーマンスディレクターをつとめた Noism 芸術監督・金森穰が立ち上げたプロジェクト。舞踊に限らず、演劇、音楽、美術等それぞれのジャンルで専門的経験を積み、卓越した活動を展開している芸術家が集うプロジェクトとして不定期で公演を行う。

Noism

演出振付家・舞踊家の金森穰がりゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館の舞踊部門芸術監督に就任したことにより 2004 年に設立した日本初の劇場専属舞踊団。プロフェッショナルカンパニー-Noism1 と研修生カンパニー-Noism2 で構成され、新潟から世界を見据えたカンパニー活動と、舞踊家たちの圧倒的な身体によって生み出される作品は、国内外で高い評価を得ている。 www.noism.jp

金森 穰 Jo Kanamori 演出振付・出演

演出振付家、舞踊家。りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督、Noism 芸術監督。17 歳で単身渡欧、モリス・ベジャール等に師事。NDT2 在籍中に 20 歳で演出振付家デビュー。10 年間欧州の舞踊団で舞踊家・演出振付家として活躍後、帰国。03 年、初のセルフ・プロデュース公演『no・mad・ic project - 7 fragments in memory』で朝日舞台芸術賞を受賞し、一躍注目を集める。04 年 4 月、日本初の劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。海外での豊富な経験を活かして次々に打ち出す作品と革新的な創造性に満ちたカンパニー活動は高い評価を得ており、近年ではサイトウ・キネン・フェスティバル松本で小澤征爾指揮によるオペラの演出振付を行う等、幅広く活動している。14 年より新潟市文化創造アドバイザーに就任。平成 19 年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成 20 年度新潟日報文化賞ほか受賞歴多数。 www.jokanamori.com



井関 佐和子 Sawako Iseki 出演

舞踊家。Noism 副芸術監督。1978 年高知県生まれ。3 歳よりクラシックバレエを一の宮咲子に師事。16 歳で渡欧。スイス・チューリッヒ国立バレエ学校を経て、ルードラ・ベジャール・ローザンヌにてモリス・ベジャールらに師事。99 年ネザランド・ダンス・シアター II (オランダ) に入団、イリ・キリアン、オハッド・ナハリン、ポール・ライトフット等の作品を踊る。01 年クルベルグ・バレエ (スウェーデン) に移籍、マツ・エック、ヨハン・インガー等の作品を踊る。04 年 4 月 Noism 結成メンバーとなり、金森穰作品においては常に主要なパートを務め、現在日本を代表する舞踊家のひとりとして、各方面から高い評価と注目を集めている。08 年よりバレエミストレス、10 年より Noism 副芸術監督も務める。

公式ブログ <http://www.niigata-nippo.co.jp/blog/iseki/> Twitter @sawakoiseki



山田 勇気 Yuki Yamada 出演

舞踊家、振付家。北海道生まれ。北海道教育大学函館校にて清水フミトに出会いダンスをはじめ。2005 年 Noism に入団。金森穰、稲尾芳文 & K.H. 稲尾、大植真太郎、中村恩恵、安藤洋子の作品を踊る。退団後、武道家日野晃に学ぶ。'13 年より Noism2 専属振付家兼リハーサル監督に就任。プロを目指す若手舞踊家を率い、新作を発表している。近年は新潟市内の小中学生や舞踊未経験者にむけたワークショップ等のアウトリーチ活動も積極的に行っている。



小尻 健太 Kenta Kojiri 出演

舞踊家・振付家。2016 年度城崎国際アートセンター・レジデントアーティスト。99 年ローザンヌ国際バレエコンクールにてプロ・スカラシップ賞受賞後、渡欧。モナコ公国モンテカルロバレエ団、NDT II を経て、NDT I に入団。キリアン、ライトフット、エック、フォーサイス、ナハリン、マクレゴー、パイトなどの作品に出演。2010 年イリ・キリアンの退団と共に NDT を離れ、フリーランス活動を始める。シルヴィ・ギエム『6000 Miles Away』、キリアンプロダクション、山口情報芸術センター、新国立劇場、アジアソサエティ等国内外のプロジェクトに携わる。また『Inscription』（Noism2 委嘱新作）、『トキ』（日中韓芸術祭 2013 委嘱作品）、『のちのおもひに』（オランダ・コルゾ劇場招聘作品）、『TSURU』（ヒューストンバレエ団とアジアソサエティ共同制作）等の創作活動をはじめ、オペラやミュージカルの振付を担当する等幅広く活躍。2012～13 年 Noism1 にゲストメンバーとして参加。 www.kojiri.jp



奥野 晃士 Akihito Okuno 出演

俳優。2000 年より SPAC – 静岡県舞台芸術センターに所属。主な出演作品に、鈴木忠志演出『イワーノフ』（イワーノフ役）、宮城聡演出『夜叉ヶ池』（山沢学円役）など。また Noism 金森穰演出振付の劇的舞踊『カルメン』『ラ・バヤデール-幻の国』や Noism0 への参加で、舞踊と演劇のジャンルを超えた新たな取り組みへの出演でも注目を集める。さらに「リーディング・カフェ」「ふじのくに歴史演説」「動読（どうどく）」「舞語り」など、自ら立案した新企画も好評。14 年よりスイスに移住し、舞台演出、出演の他、公立大学の演劇講師としても高く評価される。15 年より「街援隊（がいえんたい）アート・ムーブ」の活動を始動。街と演劇の結びつきについて新たな境地を目指している。



須長 檀 Dan Sunaga 美術

SWEDEN 生まれ。王立 KONSTFACK 大学院卒業後、Sunaga Design Office 設立。Sweden メーカーヘデザイン提案を行う。2008 年 Nordic Design Award 受賞。2009 年 ELLE Design Award Year of Furniture 受賞。軽井沢に SUNAGA DESIGN とデザインクラフトショップ NATUR を設立。Noism 『NINA – 物質化する生け贄』や『solo for 2』の椅子、unit-Cyan『シアンの家』の美術等、金森穰演出振付の舞踊作品でのオブジェデザインも担当している。
www.sunagadesign.com

中嶋 佑一 Yuichi Nakashima 衣裳

1981 年生まれ。2004 年より、劇団維新派、ヨーロッパ企画、BABY-Q、子供巨人、contact Gonzo、Noism、unit-Cyan、小澤征爾指揮によるオペラなどの舞台作品に衣裳で参加。2011 年より現代美術の分野での活動をはじめ。Noism では『Nameless Hands～人形の家』、『Nameless Poison～黒衣の僧』、劇的舞踊『ホフマン物語』、『Psychic 3.11』、『Noism2』火の鳥』等で衣裳を手掛ける。
<http://yuichinakashima.blogspot.jp/>

遠藤 龍 Ryu Endo 映像

1983 年新潟県出身。映像 + 写真。個人活動の他にプロジェクトユニット mikkyoz から作品を発表している。
www.endoryu.tumblr.com www.mikkyoz.com

伊藤 雅一 Masakazu Ito 照明

1969 年生まれ。1989 年、株式会社 RYU 入社。コンテンポラリーダンスからクラシックバレエ、オペラまで様々なジャンルにおいて照明デザイナーとして活躍している。Noism では『W-view』、劇的舞踊『ホフマン物語』、『OTHERLAND』、『中国の不思議な役人』、劇的舞踊『カルメン』、劇的舞踊『ラ・バヤデール-幻の国』等、多くの作品で照明を担当している。

尾崎 聡 So Ozaki 舞台監督

大阪外国語大学にてアメリカ演劇を学ぶ。維新派及びダムタイプにパフォーマーとして参加。舞台監督としてダムタイプ、Noism、チェルフィッチュ等。KYOTO EXPERIMENT、HARAJUKU PERFORMANCE + (PLUS)、ポストメインストリーム・パフォーミング・アーツ・フェスティバル (PPAF)、NIDF-新潟インターナショナルダンスフェスティバルにて技術監督。

公演情報

Noism0『愛と精霊の家』

演出振付：金森穰
 美術：須長檀
 衣裳：中嶋佑一
 映像：遠藤龍
 照明：伊藤雅一（RYU）、金森穰
 舞台監督：尾崎聡
 出演：井関佐和子、山田勇氣、小尻健太、奥野晃士、金森穰
 原案：シアンの家（初演：2012.9.1 高知県立美術館）

埼玉公演 第23回 BeSeTo 演劇祭 新潟プレ企画

日時：2016.8.20（土）18:00, 21（日）15:00 *全2回

会場：彩の国さいたま芸術劇場〈大ホール〉

入場料：一般 6,000 円 / U25（25歳以下）5,000 円（全席指定・税込）

取扱：▶彩の国さいたま芸術劇場チケットセンター（電話・窓口・オンライン）

電話 0570-064-939（彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く 10:00-19:00）

PC <http://www.saf.or.jp/>

Mobile <http://www.saf.or.jp/mobile/>

▶チケットぴあ 0570-02-9999（Pコード 452-595）<http://t.pia.jp/>（PC&MB）

チケット発売日：6月26日（日）

主催：BeSeTo 演劇祭新潟実行委員会 共催：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

新潟公演 第23回 BeSeTo 演劇祭 新潟

日時：2016.10.7（金）19:00 *全1回

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

入場料：一般 5,000 円 U25（25歳以下）4,000 円（全席指定・税込）

取扱：▶りゅーとぴあ（窓口・電話・オンライン）

チケット専用ダイヤル 025-224-5521（11:00-19:00、休館日除く）

オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

▶チケットぴあ 0570-02-9999（Pコード 453-272）<http://t.pia.jp/>（PC&MB）

チケット発売日：8月11日（木祝）

主催：BeSeTo 演劇祭新潟開催実行委員会 日本 BeSeTo 委員会

作品に関するお問合せ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 Noism 上杉・堀川

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

Tel : 025-224-7000 Fax : 025-224-5626 Mail : info-noism@ryutopia.or.jp

Noism オフィシャルウェブサイト www.noism.jp  Noism  @noismPR

関連情報

第 23 回 BeSeTo 演劇祭 新潟 23rd BeSeTo Theater Festival Niigata

日程：2016.10.1（土）～15（土）

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

北京（Beijing）、ソウル（Seoul）、東京（Tokyo）の頭文字をとって名付けられた本演劇祭は、日本・中国・韓国の政府首脳が一堂に会することがなかった1994年に、芸術を核とする相互理解を進めるとともに、世界文化への貢献を目指すものとして、3か国の芸術家＝韓国の金義卿氏、中国の徐曉鍾氏、日本の鈴木忠志氏の決断によって創設。以後、3か国の持ち回りで継続し、演劇祭という枠組みを超え、いまや東アジアを代表する国際文化交流事業のひとつとして重要な位置を担っています。23回目となる今年も、鳥取県、富山県とともに、初の新潟市開催です。

【中国】 陝西人民藝術劇院 [陝西省] 『かごの鳥の青春－當青春不再懷念蝴蝶的傷』

脚本・演出：李耀林

日程：2016.10.1（日）17:00*／2（日）15:00 会場りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈スタジオ B〉

【日本】 Noism0 [新潟] 『愛と精霊の家』

演出：金森穰

日程：2016.10.7（金）19:00 会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

【韓国】 劇団旅行者 [ソウル] 『ジャングルブック』

原作：R.キップリング 演出：イ・デウン

日程：2016.10.8（土）14:00／18:00* 会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈スタジオ B〉

Supported by Arts Council Korea

【日韓共同制作】 鳥の劇場 [日本・鳥取] × 劇団ティダ [韓国・江原道] 『詩の教室』

構成・演出：ベ・ヨソプ、中島諒人 脚本：小里清

日程：2016.10.14（金）19:00*／15（土）14:00 会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈スタジオ B〉

※いずれも*印の公演は終演後に各作品の演出家と金森穰によるアフタートークを予定。

【シンポジウム】「21 世紀の国際交流と劇場文化」

登壇者：中島諒人（演出家／鳥の劇場芸術監督）

志賀亮史（演出家／百景社主宰）

金森穰（演出振付家・舞踊家／Noism 芸術監督）

日程：2016.10.15（土）16:30-18:30（予定） 会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈能楽堂〉

主催：BeSeTo 演劇祭新潟開催実行委員会 日本 BeSeTo 委員会

平成 28 年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

お問合せ

BeSeTo 演劇祭新潟開催実行委員会事務局（新潟市文化創造推進課内） Tel: 025-226-2554